

ものづくりの腕競う

電子回路
組立部門 県大会に高校生8人

能代市

高校生ものづくりコンテスト「電子回路組立部門」の第17回県大会が26日、能代市の能代科学技術高校で開かれた。県内8高校の代表各1人が基板の組み立てやプログラミングの技術を競った。

参加者は、はんだごてを使って基板を組み立て、モーターやデジタル表示板などと接続。それぞれの装置が基板に付いているスイッチやセンサーの状態に合わせて動くようプログラムを組んだ。



基板を組み立てる高校生

審査の結果、100点満点を獲得した横手清陵2年の高橋悠佐さんが優勝した。高橋さんは「満点だったが、もっとうまくできた部分もある。これからも練習に励みたい」と語った。2位は藤本詠太さん（天館桂桜2年）、3位は古谷歩夢さん（大曲工2年）だった。高橋さんと藤本さんは8月に男鹿市で開かれる東北大会に出場する。

大会は、ものづくりへの関心を高めて人材育成につなげようと、県高校教育研究会工業部会が毎年主催している。
（音藤慎太郎）